

2011年1月13日

私立短期大学図書館協議会 臨時理事会・業務担当者連絡会議 議事録

日時・会場：2010年12月9日（木）13:55～16:40、東京ガーデンパレス

出席者：17名

【本部】 亜細亜大・毛利和弘、日本体育大・谷口豊、立教女学院短大・篠原智子、山野美容芸術短大・久保田智弘、共立女子大・久保寿治、以上5名

【地区】 北海道：北海道武蔵女子短大・玉田清市、東北：青森大・下山修司、関東・甲信越：青山学院女子短大・小林陽子、東海・北陸：名古屋経済大・伏見洋子、近畿：大阪芸術大・福井康雄・柴田太一、中国・四国：香川短大・小野加代子、九州：沖縄女子短大・上運天洋子、以上9名

【オブザーバー】 千葉経済大・齋藤誠一、大阪大谷大・前川和子、カリタス女子短大・石田孝夫、以上3名

司会・進行：日本体育大・谷口豊、記録：立教女学院短大・篠原智子

配布資料：①本部より（合同会議メモ、推薦理事選出による協議会体制変更について、業務分担順一覧、合同幹事一覧、出席名簿）、②近畿地区より（私短図協加盟館数の推移）、③中国・四国地区より（会報担当業務予定・・・関係者のみに配付）

### 挨拶

1. 毛利会長あいさつ
2. 自己紹介：出席者17名の自己紹介。

### 報告事項

1. 本部から報告：
  - 1) 会勢の状況：
    - ・「私短図協加盟館数の推移」（近畿地区・柴田氏提供）をもとに状況確認。  
→ピーク時（1997年度・338館）と比べ、加盟館が半減。研修会・紀要のレベルを保っていけるかどうか不安な状況にある。
    - ・2010年度当初現在の加盟館は177館。そのうち4館は年度末で退会決定。
  - 2) ホームページの委託契約更新について  
CSEより年額31万円の再見積が出た。費用の詳細は今後検討するとして、次年度は引き続きCSEに依頼することにした。
  - 3) JLA「図書館年鑑」の原稿（5,750字）、〆切2011.1.17

### 協議事項

来期以降の協議会体制について

1. 推薦理事選出による協議会体制変更について
  - ・本部事務局谷口氏より、配布資料「推薦理事選出による協議会体制変更について」に基づき、加盟館減少の実態、本部業務の地区分担の負担を考慮し、規約通り、本部に理事を位置づける方向で体制を整える旨の説明がなされた。

- ・本部理事として、研修担当：齋藤誠一氏（常任理事）、会報担当：前川和子氏、研究誌担当：木村修一氏、名簿担当：石田孝夫氏の4名が選出され、了承された。

## 2. 全国研修会について

- ・2012年度の全国研修会については、既に担当地区で心積りができている状況にあるため、近畿地区が単独で担当することが決定した。
- ・2014年度は本部および関東・甲信越地区が担当となり、この回から、研修担当理事が関与することになった。
- ・開催地について、交通の便を考慮すると、東京・近畿で交互に開催するのがよいという意見が多く出された。また、JLA短大部会や日短協図書館情報委員会との共同実施も考えられる。2014年度の後については、研修会のあり方も含め、その時点で決めることとした。

## 3. 研究誌『短期大学図書館研究』について

- ・2011年度から研究誌編集業務を担当理事に引き継ぐこととなった。
- ・広告（賛助会員）に関しては、7地区に協力を依頼し、本部会計が担当する。

## 4. 全国会報について

- ・2011年度から全国会報業務を担当理事に引き継ぐこととなった。
- ・メールマガジン年1回配信とし、紙媒体の送付は取り止めることを確認した。また、メール添付について、各地区の加盟館で可能なことを確認した。

## 5. 役員MLのメンバー追加について

- ・5月理事会に、推薦理事4名はオブザーバーとして出席することが確認された。常任理事は、5月の理事会・全国総会の承認をもって決定となる。
- ・総会前であるが、実務的に先行して推薦理事4名を役員MLに追加することが承認された。

以上